

まちづくりビジョン出前講座実施結果について

団体名：NPO法人 まちづくりネット 参加者数：10人
 実施日：7月7日（水） 10時00分 ~ 12時10分
 会場：中央公民館大栄分館

主な意見とビジョンへの対応方針

いただいたご意見は、今後議会へ提出する「北栄町まちづくりビジョン（案）」作成の参考とさせていただきます。

意見等要旨		町回答要旨	ビジョン 該当箇所	ビジョンへの反映
ビジョンについて	10年後にはこうであるという数字を出さなければいけないのではないかと。	毎年中长期計画は公表しています。ビジョンの中に10年後の財政的な計画を入れることはできません。	策定趣旨	【盛り込み済】 このビジョンは町政運営の指針とし、これにより毎年度の予算編成において財政状況を考慮しながら具体施策、個別事業を検討することとしており、10年後の財政計画を盛り込むことはできません。
	財政的なことを伴わないビジョンはない。	10年後の数字は言えませんが、単年度ごとに健全財政の基に予算編成しているので、それが裏付けであり、議会のチェックもあります。地方自治法の改正により、市町村における基本構想策定の義務付けはなくなります（予定）が、町の方向性を定めることは必要であり、自治基本条例に規定しているものですので、無責任な数字は示すことができません。		
基本目標のタイトルと分野について	施策の区分けが分かりづらい。説明を聞けばよく分かるが、説明をしないと分からないようなものはいけない。	検討します。	まちづくりの基本目標	【意見を反映】 タイトルについてより分かりやすくするため、そこに込められた思いを追加します。
	「目標」は誰が見ても分かることでなければならないと思っている。行政、町民はそれに対してどうすればいいのかということを書き具体的に書くことが大事ではないか。			
基本目標（元気なまちづくり）について	国際交流は第1編に区分けされているが、教育と関連するのでは？「語学」という言葉は誤解を招きやすく、他の言葉に置き換えてはどうか。	「語学」としてではなく、その国の文化等に触れたり、その国の言葉を理解するということの主旨であり、検討します。	まちづくりの基本目標	【意見を反映】 その国の言語、文化など、相手を理解するという意味合いから「語学」を削除し、「国際理解」として表します。
国際交流について	民間団体が2つ掲載されているが、民間については他にも自由に活動しているところもあり、そこまで書かなくてもよいのでは。	検討します。	第1編第4章 国際交流の推進	【意見を反映】 民間団体と連携して取り組んでいく内容に変更します。

人権同和教育について	<p>小地域懇談会は一握りの同じ人しか参加しない。笑顔のまちにするためにはどうしたらいいのか。結局は具体的な目標を立ててそれに対してどうしていくかということ。</p> <p>小地域懇談会で個々の話を聞けばなるほどと思うが、それだけでこの問題はなくなるのか。何年同じことをしているのか。基本から直していかないといけない。住民レベルを上げることが必要。生涯学習とは何かよく考えていかなければいけない。教育基本法から読み返してほしい。</p>	人権問題に関する研修会でもある「小地域懇談会」は、平成21年度からは、各自治会で主体的な取り組みにさせていただくようお願いしています。内容につきましては、ビデオや講演だけでなく、参加型の学習も出来るよう内容を充実していきます。今後も、内容の充実を図っていきますが、各自治会においても参加者が増えていくような周知方法の工夫や学習内容の選択を考えていただきたいと思います。また、この研修会を暮らしやすい地域づくりの一環としてとらえていただき、積極的な参加をよろしく願います。	第2編第1章 人権・同和教育の推進	【盛り込み済】 人権・同和教育を人づくり、まちづくりとしてとらえ学習機会の提供を図ります。
伝統芸能、文化について	北栄町にあるものを紹介してあると分かりやすい。	文化財や伝統芸能を紹介します。	第2編第2章 文化活動の推進	【意見を反映】 町内の文化財や伝統芸能を写真で紹介します。
少子高齢化対策について	少子高齢化が加速する中で、「子育てするなら北栄町」として、この町独自の施策を行ってほしい。	医療費助成の拡大、幼保一元化などを行っています。ビジョンに個別のことは盛り込まないこととし、保育料の無料化などは書けませんが、施策として毎年の予算編成の中で反映していきます。	第3編第3章 子育てと仕事の両立支援	【盛り込み済】 具体的な施策については、財政状況を考慮しながら予算編成の中で検討します。
男女共同参画について	<p>国・県の流れからかなり遅れた内容となっている。女性のための男女共同参画ではなく、子ども、男性にとっても男女共同参画である。ワーク・ライフ・バランスのあたりを盛り込んで欲しい。</p> <p>元気なまちの根本にある。内容的に寂しい。</p>	内容を見直します。	第5編第1章 男女共同参画 社会の環境整備	【意見を反映】 地域における男女共同参画、ワーク・ライフ・バランスについて盛り込みます。
財政運営について	財政的にはとても危機感を感じている。財政健全化比率の表で単年度の状況だけを見てもこの先が心配。事業仕分けの内容を詳しく書いて欲しい。	事業仕分けは県内でも先進的に行っており、結果がどう反映されているかなど、全てオープンにしています。	第5編第3章 健全な財政運営	【盛り込み済】 事業仕分けは持続可能な健全な財政運営のための行財政改革の1手法です。回答要旨及びこのことからビジョンへの追加記述は行いません。

財政運営について	スリムな行政は大事なことだと思うが、具体的にはどのような行政のことか。	行政改革プランの中でオープンにしています。ここでは引き続き取り組んでいくという姿勢を示しているものです。	第5編第3章 健全な財政運営	【盛り込み済】 スリムな行政とは「組織・機構が無駄なくスッキリしている」「無駄な事業費計上がなく財政的にスッキリしている」「町民の声が行政に届きやすい」などがあります。そのためには「事務事業の簡素化・効率化・廃止、縮減を図る」「民間でできることは民間に委託する」「人員の適正化を図る」「情報公開を進め町民による参画を推進する」など積極的な取り組みを図る必要があるということです。回答要旨及びこのことからビジョンへの追加記述は行いません。
歳入確保について	税金を厳しく取りますということしか書いてない。これによりどれほどの効果があるのか見えない。	厳しく取り立てるということよりも、公平性を高めたいということです。	第5編第3章 健全な財政運営	【意見を反映】 税の負担は公平でなくてはなりません。公平性の面から記述したのですが、納税相談についても追記します。
施策について	各施策のページに関連する他の施策があればそこが分かるようにしてほしい。(関連 ページ参照)	検討します。	全般	【意見を反映】 関連ページを表記します。(関連 ページ参照)

その他の意見と回答

次のご意見は、まちづくりビジョンの策定作業とは別に処理すべきである、またはご質問に対する回答のみでよいと判断し、担当課による回答を掲載します。

意見等要旨		担当課回答
行財政運営について	町民は費用対効果を考えなければいけない。	費用対効果を検証するのは重要なことですが、行政施策は、民間の会社等で行われる「いくら費用をかけていくら収益があった」というような数字での検証が難しいという実情があります。農業関係者は「農業を手厚く」、子育て世代では「保育・教育を重点に」、「商工を」「福祉を」「住環境整備を」など、各々の置かれた立場によって幅広い要望があり、毎年度の予算編成で財政状況を考慮しながら、予算の配分を行っているところです。財源的にすべてに重点配分することは不可能で、どこかを重点配分すれば、どこかを縮減しなければなりません。そんな中、事業仕分けは公開の場で行うため、費用対効果を検証するいい手法だと思われま
伝送路の整備について	様々な情報についてホームページを見てといわれるが、見ることができる町民がどれだけいるのか。それがないと企業が来ないといっても、整備されたから何社来るといのか。1社、2社？パソコンを使って町民レベルが上がるというわけではない。	北栄町の情報発信は他町より豊富であると考えています。まずは行政の責任として情報環境を整備し、あとはいかに情報収集してもらうかということについてはよくPRし、利用してもらうよう努めます。
	今年度の北条地区の整備の後には大栄地区に取りかかるとのことだが、予算規模の約1割を占めるような大事業であり、財政が悪化することを想定して事業計画を組んでいるのか。よく検討して欲しい。	そのような事業は今から想定して財政計画を立てています。
	情報網の基本的な整備は分かるが、そこから先どこまでするかということは実態をよくみないといけないのではないか。整備されることで町民が他町より豊かになるのか。	情報の共有化には必要なことです。町としての資本整備は伝送路を整備することで、そこから先の端末は町民が整備し、活用していただきたいと考えます。
納税について	納期が8期から4期になり、納税がさらに苦しくなったと聞く。どこが町民にとってやさしい事業仕分けなのか。国保など、払いたい人が払えない人がいるのでは？	個々には様々な状況がありますが、相談してもらえば分納に応じており、少しずつでも納めてもらうことができます。納期の変更は事業仕分けではなく行政改革で議論してきたものです。